



目次

一 戦闘前ニ於ケル彼我ノ態勢

二 戦闘時ニ於ケル天候及地形

三 彼我ノ兵力編成表

四 戦闘経過ノ概要

別紙

一 情報綴

二 戦闘要圖

三 戦闘参加人員兵器編成表

附表

一 本戦闘ニ於ケル戦果

二 兵器殲滅損耗表

三 將來ノ參考

戦闘前ニ於ケル彼我ノ態勢

一 本部隊ヨリ通報ニ依リ八敵ノ大本營ヲ基地トシ本ニ及南西諸島方面ニ對シ哨戒ヲ

實施シテリ(九月十九日)

二 本艦艇部隊ノ情報ニ依リ八敵機動部隊ハ比島東方海上ヲ北上シツテリ

(九月二十日)

三 敵機動部隊ハ九月二十四日比島ヲ空襲シ爾後臺灣及南西諸島方面ニ派シツテリ

(九月二十六日)

四 九月二十日敵機ハ梅島(沖大東島)ニ來襲シ銃撃ヲ加ス

五 十月十日ニ至ルニ彼我不明ノ飛行機津霸東方海上ヲ旋回シ在リロク三三米國

戦闘機四機部隊上空ニ侵入シタルヲ始メトシ戰爆連合數十機階段ニ銃爆

撃ヲ開始ス

同日以降

六 十月十日師團命令ニ依リ丙號戰備下令セラレ對空ニ海ニ警戒ヲ嚴ニツツテリ

戦闘時ニ於ケル天候及地形

一十月十日早朝ヨリ晴天ナレト白晝時灼熱ノ陽光射撃ヲ妨害ス正午以後少量  
トナリニ雲ニ對スル展望稍不良ナリ

波ニ平穩ニシテ海上警戒ノ遠望良好ナリ

風速ハ三米以下ノ微風ニシテ戦闘ニ影響ナシ

ニ海岸線ヨリ四五百米ヲ以テ略ニ平行ニ急斜面山地ヲ形成セル結果平地山林麓ニ  
於ケル飛行困難ナリ

彼我ノ兵カ編成裝備

一敵ノ兵力

(仲連本島東岸能ク延機數約四五機)  
即地ニ來攻空襲モ

ニ我別紙編成表ノ如シ

戦闘經過ノ概要

一十月十日ロセマ五旅團經由(泉中尉)左記師團命令ニ依リ敵機來襲ニ付部署  
ニ就ク

師團命令(要旨)

十月十日、ロセマ

一敵機來襲ニ付部署ニ就ク

右ニ依リ大隊長ハ石九三休命第ハ〇號ヲ下達シテ號戰備ニ基キ津霸當間兩地區

ノ全兵力ヲ夫々概成陣地ニ配置セシメ飛來ノ敵機ヲ索メテ戦闘ヲ開始ス

石九三休命第ハ〇號

十月十日、ロセマ  
於津霸

獨立歩兵第十二大隊命令

一機數不明ノ敵大編隊ハ伊江島(津霸北方)方向ヨリ仲連本島ヲ攻撃中ナリ

ニ部隊ハ直々ニ號戰備ニ移行シ全力撃隊ヲ準備スルト共ニ敵ノ海上機動ノ攻

撃ヲ備ヘントス

ニ各隊ハ速ニ配備ヲ完了シ敵機ノ跳梁ニ際シテハ全力ヲ以テ之ヲ撃隊スヘシ

亦特ニ敵ノ海上機動部隊ノ偵察ニ努ムヘシ

四部隊本部ハ速ニ津霸國民學校西側山地脚附近ニ兵力ヲ遮蔽スルト共ニ六一高

地ニ轉移ヲ準備スヘシ

五兵器委員八津霸國民學校々是ノ聲察ヲ速ニ疎聞スヘシ

之カ細部ニ就テハ副官ヲシテ指示セシム

六通信隊長八津霸部隊本部一櫻ハ梅陣地間ニ無線通信網ヲ構成スルト

共ニ本部一中城村役場間ハ有線通信網ヲ撤收シハ一櫻一津霸國民學校

間ニ有線通信網ヲ構成スヘシ

七岩田軍醫八救護班ニ組ヲ準備スヘシ

八予ハ暫ク津霸國民學校ニ在リ

大 隊 長 賀 谷 興 吉

下達法、要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

二第一中隊ハ新垣北端附近ニ陣地ヲ占領シ敵機ノ屋良飛行場ヲ空爆(銃撃)

シ四五百米附近ニ急降下シ來リ反轉上昇圓弧ヲ畫キツツアル節度ニ心中ノ

ハカラ浴セ相當ノ打撃ヲ與ヘタリ

三第一中隊ハ百二十高地ニ據リ上空ヲ重走狂奔セル不遜ナル敵機ヲ猛撃手セリ

四第三中隊ハ櫻陣地ニ於テ東方海上ヨリ臺上面ヲ超低空ニ巨艦ヲ來ル敵機ヲ

頑強ニ要撃セリ

五第一中隊ハ六二高地南側山頂ニ位置シニマ、野高方向ヨリ亂射亂撃ヲ

續行セル敵戦闘機ニ對シ全火カラ以テ應戰シ熾烈ナル銃火ヲ交ヘ遂ニ敵

ハ機胴ヨリ白煙ヲ發シツツ暫次機首ヲ東方海上ニ下ゲツツ津取島燈臺附

近海ヲ浪入浪出ニシテ遠望ス

六第五中隊ハ梅陣地ニ於テ一三三北方ヨリ低空旋回(約五十米)銃撃シ來ル敵

機機體ニ對シ必殺ノ猛射ヲ浴セタル結果右機胴ヨリ黒煙ヲ吐キツツ橋井部

隊正面ニ隊ニ落(白色横文字アリ)セ生ノ如シ

七機關銃中隊ハ六二高地東端ニ陣地ヲ占領シニ一三五突如同高地西側山頂

ヨリ出現急襲シ來ル敵機ニ對シ急射連續集中彈ヲ浴セタル急機敵ハ

黒煙ヲ發シツツ暫時低空滑走トナリニ一四五高地山脚稜線ヲ迂回シ其後

機影ヲ認メス

八一三二〇師團參謀長ヨリ左記通報下

敵ノ大部隊ハ逃避セルモノノ如シ然シテ少数ノ偵察機來襲シツツアリ  
各部隊ハ對空遮蔽ニ特ニ留意スヘシ

二敵ニ對空施設中不備ナルモノハ晝夜兼行強化スルヲ要ス

九二七〇敵ハ戦闘機若干ヲ殘置シ收容ノ任ニ當ラシメツツ主カハ東方海上適  
走ス、依而石丸ニ依命第八一號ヲ下達シ乙號戰備ノ儘夜ヲ徹ス  
石丸ニ依命第八一號

獨立歩兵第十ニ大隊命令

十月十日 一七〇〇 於 尋 霸

一約百餘機ヨリ成ル敵ノ編隊ハ銃爆撃ノ後退却セリ

我部隊ニ損害ナシ

敵機ハ本夕以後ニ於テモ引續キ攻撃シ來ルモノト豫想セラル

二大隊ハ概テ現態勢カラ以テ夜ヲ徹シツツ本夕以後ノ敵機ノ攻撃ニ備アルト  
共ニ敵ノ上陸企圖ヲ封殺セントス

三各隊ハ概テ現態勢カラ以テ夜ヲ徹シ一部ヲ以テ海上及對空監視ヲ續行スヘシ

特ニ黎明以後ノ警戒ヲ至ニ嚴ナラシムヘシ

四持ニ本夜ニ於ケル燈火管制ヲ嚴守スヘシ

五予ハ津霸部隊本部ニ在リ

大 隊 長

賀 谷 興 吉

下達法 命令受領者ヲ集メテ違筆記セシム

別紙一

一 空襲時以降ノ情報

旅團ヨリ通報

十月十日、〇八二六 無電

一 現ニ空襲中ノ敵ハ太平洋方面機動部隊ナルモノ如シ

一 十二時<sup>周</sup>數次ニ亘ル空襲ハ公算ナリ

石情報

十月十日、〇八四五

一 北島南島兩島中間地區ニ敵軍艦七隻出現モレ情報アルモ確實ナリヤ

一 海ニ敵言式ヲ厭ニシ敵機動部隊ニ對シ注意スヘシ

旅團指 示

十月十日、〇九三〇

一 敵機ヨリ損害ヲ報告スヘシ

石情報

十月十日、一〇五〇

一 那霸基點ニ南方ニ敵機大編隊

旅團情報

十月十日、一一四五

一 石第三五九部隊水坂少尉右二膝軟部貫通銃創下ニ官戦死ニ員傷一

石情報

十月十日、一一五〇

一 一、三、〇、伊三島東方大編隊近接中

石情報

十月十日、一二〇〇

一 那霸基點ニ四〇度方向百五十軒敵大編隊那霸方向ニ進行中

石情報

十月十日、一二六一

一 敵偵察機ニ機西進中 高度ニ五〇〇

師團長注意事項

十月十日、一六〇〇

一 各司令部本部等、指揮中樞施設通信施設等ハ急速ニ強化スルコト

一 人員(馬匹)等兵士雖モ暴露セサルコト 部隊ノ駐屯スル附近ニ入ト物トノ暴露

夕シ、嚴ニ各部隊長ニテ注意ノコト

一 自動車馬車、偽裝遮蔽ニ注意スルコト又自動車、夜間燈火管制スルコト



四彈藥糧秣等ノ公布分配ヲ受フルモ、ハ分置進路ヲ掩蔽スルコト

部隊情報 (旅團へ)

一〇八五津霸東方海ヨリ大型機四機西進中 高度不明

一約二十機ノ敵ノ偵察機ハ〇八五津霸上空ニ於テ旋回中 高度二十機種不明

一〇部隊ハ遮蔽シツシ射撃準備ヲ終リ敵情ヲ監視シツツナリ

一〇情況ニヨリ全カ陸地ノ配備ニ就ク準備完了ナリ 現逃異常ナシ

一〇地方側ニ敵機ニ關シ適當ニ指導シツツナリ (十月十日〇八五旅團へ)

一〇一五約四十機ノ敵機津霸海上ヨリ西進中 (十月十日〇三五旅團へ) 部隊長

一〇四〇北島燈臺延焼中 (十月十日〇四五旅團へ)

一〇一〇津霸上空ニ於テ偵察機ヲ受ケタルノ損害ナシ (十月十日〇五〇旅團へ)

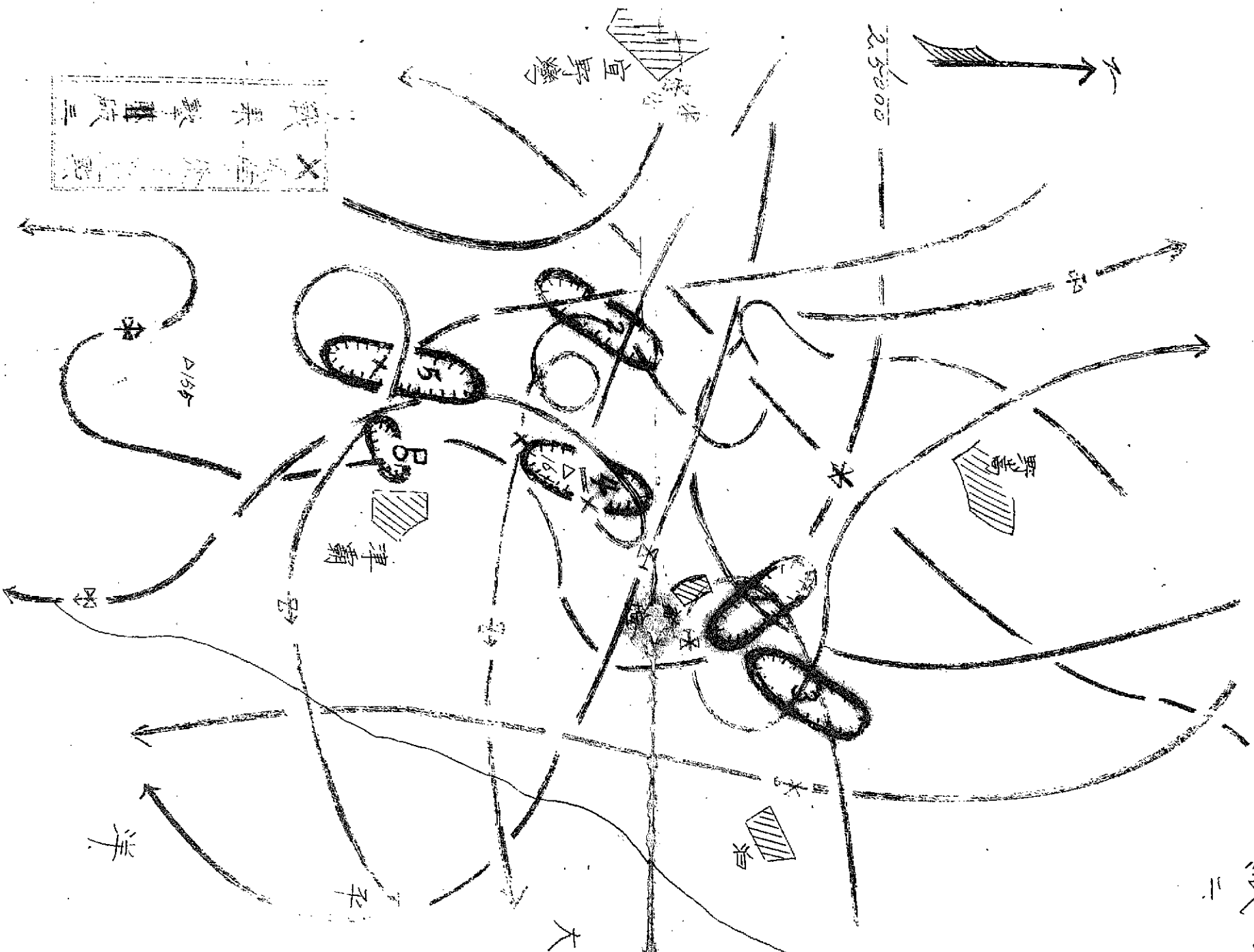
一〇敵津堅島爆撃中 (十月十日一ニ〇〇旅團へ)

一〇津霸上空敵機一機 高度二十西進中 (十月十日一ニ〇〇旅團へ)

一〇津堅島中尺及南部ニ亘リ敵爆撃ニ依リテ所黒煙ヲ發シ目下延焼中

一連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 二連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 三連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 四連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 五連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 六連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 七連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 八連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 九連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中  
 十連「霸王」敵軍一三隊 高度三千二百米中

別紙二 要 關 戰 圖 (對ノ下以米西大定) ストミノ關戰





戰鬪參加編成表

獨立步兵第十三大隊

備考	計	步兵砲中隊		機關銃中隊		第五中隊	第四中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	隊本部		軍隊區分
		陸軍大尉 內山幸雄	陸軍中尉 壺見高美	陸軍中尉 八木一夫	陸軍中尉 吉村馨	陸軍大尉 長峯正榮	陸軍中尉 山添欣作	陸軍中尉 川崎忠男	陸軍中尉 大田俊郎	陸軍中尉 仲井勝太郎	陸軍中尉 賀谷與吉	通信隊 小隊	作業隊 小隊
	34	3	5	4	4	3	3	4	1		7		將校 中隊下
	99	10	8	14	14	5	12	15	3	2	16		兵員
	528	68	48	56	55	63	64	67	30	24	48		計
	656	81	61	74	73	71	79	86	34	26	71		馬
	2										2		銃
	6	4	2										計
	8	4	2										兵
	2	2											火
	2	2											火
	2	2											天 中 台
	8		8										器
	46			9	9	9	9	9		1			
	46			9	9	9	9	9			1		

附表

本戦闘ニ於ケル戦果

撃破 二機 (福井部隊員自機) 津野島沖海域

撃破 三機

我方ノ死傷ナシ

兵器彈藥ノ損耗左ノ如シ

計	鐵甲艦	中機	九九重機	九九式輕機	九九式航機	品目別
420				420		一中
541				541		二中
220				220		三中
290				290		四中
491				491		五中
1290	120	120	1290			附 中
50				50		IA 中
20				20		通 信
31				31		本 部
3593	120	120	1290	2009		計

ニ將來ノ參考

ノ敵機ノ戦法 敵機ヨリナル偵察機ヲ以テ先ツ飛行場地上重要施設等ヲ偵察  
セシメ後數刻ニシテ戦爆連合ノ大編隊波狀的ニ反覆來襲ス  
一為一舟ヲ發見シテ即チ雖モ極メテ執拗ニ徹底的銃撃ヲ反覆シ殘忍的玩  
弄視セル野性ヲ發揮ス

ニ文化教育ノ進延シタル本島住民ニ對シ國內人心擾亂ヲ計ル目的ヲ以テ現時日  
亦ハ連敗ヲ重ネンツアルトノ巧妙ナル宣傳ヒララヒテヨリ多敷散布ス

RS 95396  
Cincpac-Cincpoa  
B- 26999  
OKINAWA 24 July